



米山奨学生親睦交流会

去る8月27日、米山奨学生20名を中心に計58名で親睦交流をかねて佐渡島へ研修旅行。文弥人形の見学、佐渡独特の粘土で手ひねり細工などを体験、佐渡金山の坑道見学後の記念写真です。皆さんの表情から大いに楽しんでいただけたようです。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



ガバナー月信
2011.10.01

Vol. 4

CONTENTS

ガバナーメッセージ 2	クラブ紹介 佐渡南ロータリークラブ 10
職業奉仕月間 3	クラブ紹介 柏崎中央ロータリークラブ 10
米山月間 4	新入会員・物故会員 11
米山親睦交流会 5	10月地区の予定 12
青少年夏期交換帰国報告 6	出席報告
IM 報告 8	ハイライトよねやま / 文庫通信

石本ガバナー事務所 〒951-8053 新潟市中央区川端町2丁目12 2階 TEL: 025-201-7802

国際ロータリー第2560地区2011-2012年度ガバナー：石本 隆太郎

ガバナーメッセージ

10 月は、職業奉仕月間 ・ 米山月間

そして、公式訪問の折り返し地点！



ガバナー 石本隆太郎

9 月 29 日(木)糸魚川 RC の公式訪問。30 日(金)糸魚川中央 RC 公式訪問と続き、帰りの「特急はくたか」の車中で、遅れた原稿の下書きをしています。

今週は、26 日(月)村上岩船 RC の公式訪問で、朝 8:48 新潟駅発の在来線で新潟～村上間を往復。27 日(火)村松 RC、28 日(水)巻 RC の公式訪問は、小山地区幹事の車で送迎してもらいましたが、5 日連続公式訪問の移動距離は、優に 1,000 キロを超えたでしょうか。あらためて新潟県の海岸線の長さとしさを実感しました。8 月下旬、同じ「ほくほく線」経由で、十日町の 2 クラブを公式訪問した時は、まだ青々していた田んぼでしたが、山間部も半分以上の刈取りが終わったようで、早い季節の移り変わりを感じます。

9 月は公式訪問に加え、週末毎に分区の IM と懇親会に出席するというハードスケジュールで、のど風邪がなかなか治らず、訪問先の皆様に色々ご心配をおかけしましたが、いずれのクラブからも温かく迎えていただき、今日までに 27 クラブの公式訪問を終了。10 月からの折り返し地点を迎えます。

公式訪問では、ガバナー講話の時間を 30 分程いただき、①クラブ定款・細則の重要性、②会員増強と出席率向上、③バネルジーRI 会長の年度テーマの 3 本柱を中心に、お話をさせていただいております。

特に、定款・細則について言えば、現況報告書に“抜粋”しか掲載していないクラブが多く、全文掲載しているクラブでも、手続要覧＝2010 年版によらず、2007 年版以前のものであったり、「役員」と「理事」の役割の違いを認識せず、定款・細則と合致しない組織編制のクラブ等々、指摘事項が多くありました。

会員増強の面でも、当地区には会員 20 名未満のクラブが 9 クラブ。その中で会員 10 名未満のクラブが 3 クラブあります。これらのクラブには小山地区幹事にも同行してもらっていますが、ロータリークラブとして“機能不全に陥りかけているクラブ”もあり、問題解決には困難なことが山積しております。

10 月は、「ロータリーの土台」とも云える職業奉仕月間と、「我が国で最大の民間奨学団体」である米山月間です。それぞれの委員会を担当する地区委員長に寄稿していただきましたが、各クラブにおかれましても、例会の場等を通じて各テーマについての研修の場を設けていただきますよう祈念いたします。

職業奉仕月間によせて

職業奉仕委員会委員長 丸山 常彦(新潟中央RC)

職業奉仕とは、アーサー・フレデリック・シェルドンがミシガン大学経営学部のマスター・コースで専攻した販売学を基本として、1902年に自らが設立したシェルドン・ビジネス・スクールで 20 世紀の経営学の基本理念として教えていた考え方を、そのままロータリーが受入れて、ロータリーの奉仕理念として提唱したものであり、自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営めば、結果として継続的な事業の発展が得られるという独自の思考です。そして、それを示すモットーが **He profits most who serves best** なのです。

職業奉仕実践の受益者はロータリアンであることを忘れてはなりません。

職業奉仕は実利的なものであり、精神的な運動でも倫理的な運動でもありません。職業奉仕の実践は顧客の満足度を最優先した事業経営の方法であり、そのような事業経営をする事業所は、当然のことながら高い職業倫理を備えた事業所であるという結果があらわれます。それは職業奉仕を実践した結果に過ぎず、この運動の出発点に職業倫理の高揚を目的とした活動ではありませんでしたとあります。

当時の社会情勢や時代背景より、資本主義の最も醜に面をさらけ出した無秩序な自由競争の下では、同業者はすべてライバルであり、法さえ犯さなければ金を儲けたものが成功者ともてはやされました。

こんな状況の中でロータリーが創立されたわけですから、当初は何事でも胸襟を開いて話し合える友情を培うことが目的となり、次いで各々が違った職業であることを利用した物質的相互扶助によって、事業の発展を図ったことも容易に想像できます。

シェルドンは物質的な相互扶助に頼らずに、継続的に利益を上げて事業を発展させる経営方法として職業奉仕を説いたのです。

彼は、食うか食われるかという人間の本能をむき出しにした 19 世紀の利己的な経営手法を批判すると共に、単に自分だけ儲けようという商売から脱して、他人に対するサービスすることが、事業を成功させる方法であることを力説しました。また、大きい **Service** (奉仕) を行えば、大きい **profits** (利潤) がえられるのです。

事業経営によって、適正な **profits** を得ることは極めて正当な行為であると力説しています。

職業奉仕とは、リピーターを得るための科学的かつ道徳的な経営方法なのです。

シェルドンは奉仕の原理を人間関係学から説いたのです。

あなたは「何のために仕事をしていますか。」の問いに

彼が述べた正解は「自分の職業を通じて社会に奉仕・貢献をするために仕事をする。」事です。

最後に再度職業奉仕の原点を見つめることが必要ではないでしょうか。

(著書 田中毅氏「職業奉仕」原理と実践 総集編 より抜粋)

米 山 月 間 に あ た り

米山奨学委員会委員長 新保 清久(新潟万代RC)

東京ロータリークラブが 1954 年に最初の奨学生を受け入れてから 57 年、1967 年に財団法人として認可されて、44 年を迎えています。これまでに 47 カ国から 16,389 名の奨学生を支援してきました。規模と実績ともに民間で最大の奨学団体となっています。

第 2560 地区の 2010-2011 年度の寄付金は、合計では 37,059,016 円。個人の平均寄付額は、17,981 円でした。目標金額の 18,000 円にはほんの僅かに足りませんでしたが、個人平均寄付額が 30,000 円を越えたクラブや、周年行事で多額の特別寄付をいただいたクラブもあり皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

2011-2012 年度の個人平均寄付額の目標は、前年と同額の 18,000 円です。

長引く不況と東日本大震災の影響もあり、寄付金は極めて厳しいものと考えていますが、奨学金はロータリアンからの寄付を財源としています。

寄付金の減少はただちに奨学金不足となりますので何卒、前年以上の寄付のご協力をお願い申し上げます。

さて、米山奨学事業は、寄付増進委員会、奨学生・学友委員会、奨学生選考委員会の 3 委員会に分かれてほぼ一年間を通して活動しています。

7 月から始まるロータリー年度と 4 月からの学校年度がずれているため、委員会活動は、毎年、委員が変わりながらも事業の継続性を大事にして活動しています。

石本年度の受入奨学生は、9 カ国、10 大学の 25 名です。

年度最初の事業として、8 月に佐渡へ奨学生・カウンセラーの親睦交流旅行を行いました。佐渡南クラブからの献身的なご協力をいただき、島内の観光や無名異焼きの実演、さらには大変珍しい文弥人形も見学できて、ゆっくりと佐渡を堪能してきました。

9 月には、新潟市内で、奨学生を推薦していただく県内 10 大学の担当者にお集まりいただき、ロータリーや米山奨学事業、採用方針等の広報・説明会を開催しました。

今後の委員会活動としては、12 月の学友総会、来年 1 月の奨学生選考会、3 月の卒業式、5 月の次年度奨学生の歓迎会となります。その間に日本古来の文化（茶道、華道、和楽器演奏等）の体験会を予定しています。

寄付を集めて、優秀な奨学生を選考して、奨学金だけでなくカウンセラー制度で面倒をみるという独自の米山記念奨学事業をご理解賜り、今後とも変らぬご協力の程お願い申し上げます。



H23 年 米山奨学生親睦交流会

米山奨学委員会 奨学生・学友担当 中村 紘一(柏崎中央RC)

去る8月27日、年間行事である親睦交流会を開催。奨学生20名を主体に、カウンセラー含む計58名で佐渡島へ親睦交流を兼ねて研修旅行へ。

佐渡島では、文弥人形劇の見学、(奨学生には、物語は少し難しいようでした)人形劇の後、人形を手に取り、時間を忘れて操作の勉強した後、無名異焼工房で佐渡独特の粘土で手ひねり細工を体験(なかなか旨くできないようで、皆さん苦心惨憺)、世界遺産申請中の佐渡金山の坑道に入り、その大きさに昔の人々の手堀の苦労や工夫に感心しながらの見学。佐渡からの帰りには、ジェットフォイルの高速船(時速74km)の体験など、奨学生の表情などから愉しんでいただけたようです。

年間を通して、色々な行事がある米山奨学ですが、日々、個人的な交流がある奨学生とカウンセラーも、長い時間、他の奨学生、カウンセラーとの交流はなかなか機会が得られないのが現状です。今回の交流を機会に広く交流の場を広げて頂ければ幸いです。

今回の計画は旅行業者を使わず、新保米山奨学委員長を始め新潟市内 RC の米山奨学委員が中心になり、佐渡南 RC の米山奨学委員の皆さんと連絡を取り計画して頂きました。皆様、大変ありがとうございました。



ドイツらしさを感じて ～～青少年夏期交換帰国報告～～

氏名:小林 美咲(和洋女子大学) スポンサー:白根RC (2011年8月6日～8月25日)

新たな場所を訪れると、必ずその地域を象徴する古城や教会が、町から顔を出し聳え立っているところにドイツの歴史や文化を見てとれます。古い歴史を誇る世界遺産と、絵画やモダンダンスといった現代的芸術が違和感なく互いに堂々と存在しあうその町で、ビールの泡をクリームに見立て、朝から「クリームののった紅茶」と笑いながら豪快にビールを飲む人々の姿に、ドイツらしさを感じます。

おはよう・さようなら・ありがとう・いただきます、簡単な単語を相手国の言葉で表現し合うことは、互いの距離を縮め、また互いの文化に興味を持つ良いきっかけとなったように感じます。教育システム・子どもの名前の決め方・書体・文化・習慣について、give and take の関係で熱く語り合えた国際交流の時間は、私にとってドイツを代表する様々な歴史ある大聖堂と同じくらい価値あるものとなりました。今後は、ドイツで見て感じ得たことを外に発信し、他者と共有し合うとともに、引き続き国際理解・国際親善の活動を推進していきたいと考えます。



Machtens Familyとケレンにて

レバークーゼンの家にて

Doersch Familyとゾーリンゲンの家にて

ドイツ留学を終えて ～～青少年夏期交換帰国報告～～

氏名:金子 達哉(日本航空高校) スポンサー:高田東RC (2011年8月6日～8月25日)

ドイツで三週間過ごして、私は多くのことを知りました。ドイツという国のこと、文化、国民性、どれもビックリすることばかりでした。そしてたくさんのことを学べたので、毎日がすごく充実していてとても楽しかったです。ドイツ人は、みんなすごいフレンドリーなので、すぐに仲良くなれ、コミュニケーションもたくさんとれました。日本と同じようなところもあれば、全く違うところもあり、戸惑う部分もありましたが、それ以上に学べたことなどがたくさんあったので、とても貴重な経験をすることができました。ドイツ留学で学んだことを、日本でも生かせるようにしたいと思います。



第一ファミリーのステファンさん一家と

今のドイツの市長が使っている場所で

第2ファミリーのドルシュさん一家と

帰国報告レポート ～～青少年夏期交換帰国報告～～

氏名:佐藤 芽衣(新潟清心女子高等学校) スポンサー :三条東RC (2011年8月6日～8月25日)

私は今回の短期留学が2回目の海外でしたが、ドイツに行くのは初めてだったので、ドイツの文化は全く知らなかった私にとって、とてもいい経験となりました。一軒目のホストファミリーの家が山奥だったのでどこに行くにも時間がかかり車での移動だったため、乗り物酔いしやすい私は車酔いをしてしまい、ホストファミリーに迷惑をかけてしまいました。しっかり酔い止めを持っていくべきでした。でも、その時に勇気を出してホストファミリーに話したおかげで、薬をもらえたりできたので、勇気を出して自分から話しかけるということは、とても大事なのだなと思い、それからの生活でも自分から話しかけることができるようになったので、たくさんコミュニケーションを取ることができました。とてもいい経験ができました。これからもたくさん海外に行って異文化を学んでいきたいなと思います。



夏期交換学生の夢 ～～青少年夏期交換帰国報告～～

氏名:角谷 ほのか(新潟清心女子高等学校) スポンサー :雪国魚沼RC (2011年8月6日～8月25日)

私はドイツに行くことができ沢山の経験をさせていただき、沢山のことを学びました。その中でも素晴らしい方との出会いが何よりも大きかったので、そのことについて書かせて頂きます。

トーマスさんという日本が大好きで日本語がとてもお上手な方に会いました。私が例会でスピーチをさせて頂いたときも日本語をドイツ語に訳してお話して下さったおかげで大震災の被害と現在の状況について詳しく話すことが出来ました。また、ドイツについても政治から流行まで沢山のことを教えて頂きました。私はこの様に国と国の架け橋となる人がいると国同士が刺激されてお互いに良い国となれるのではと思いました。だから私も将来日本と正反対の発展途上国の架け橋になりたいという夢が出来ました。ドイツではこの方以外にも沢山の方にお世話になって良い経験となりました。ありがとうございました。



会員相互の親睦を見直そう ～～IM報告～～

第2分区アシスタントガバナー 大西 淳(新潟北RC)

去る9月3日新潟北ロータリークラブがホストを務めたIMが、第2分区9クラブの参加、150名を超える沢山の方々にご参加いただきました。

石本ガバナーも今年度の地区運営方針の中で、ロータリーの創世記の話として1905年シカゴでポール・ハリス他3人で始まったロータリーの原点も、「会員の親睦」であることに触れられています。「親睦」はまさにロータリーの始まりでもある訳です。恐らく4人の仲間の親睦がなければロータリーは生まれていなかったかもしれません。

今回のIMの場は古くからの知り合いとの旧交を温め合う場として、そして新しい友人を見つける場ともなったと思います。

＊参加くださった皆さんも大いに親睦を深められたと思います。
これからも楽しいロータリー人生を共に過ごしたいものです。沢山の方々の参加に感謝致します。有難うございました。



第6分区IM開催！ ～～IM報告～～

第6分区アシスタントガバナー 大竹 一夫(雪国魚沼RC)



9月11日(日)南魚沼市ホテル坂戸城において第6分区のIMが開催されました。残暑厳しい中でしたが、分区内6クラブより86名の登録があり、石本ガバナーからもオブザーバー出席いただき、有意義な一日を過ごすことができました。

勉強会は、外部講師による講演並びにクラブ会長による情報交換会(フォーラム)。講師高野孝子様からは出演したドキュメンタリー映画「地球交響曲第七番」の一部を上映した後、司会者及び会場とのディスカッションをしていただきました。自然活動家として北極海横断から南魚沼でのコメ作りまで、環境教育を中心にお話しいただき、会場からもたくさんの質問が出ました。

会長フォーラムでは、AGがコーディネーターとなり、6クラブ会長から、会員数、会費、食事代、事務委託、ニコニコ、夜例会、社会奉仕活動等について発表していただき、資料として一覧表を作成したクラブもあった程熱心に聴いていたようです。

最後の懇親会では、石本ガバナーからもご挨拶いただき、前日のゴルフ大会の表彰式も含め、和やかに交流ができました。参加いただきましたロータリアンの皆様に感謝申し上げます。

「第5分区IM」を終えて ～～IM報告～～

第5分区アシスタントガバナー 吉田 拓蔵(栃尾RC)

9月4日、残暑厳しい中、「栃尾産業交流センターおりなす」にてIMが開催されました。第5分区の7クラブ総勢 168 名の参加で、会場が満杯となり大変良かったと感じました。

「点鐘」からセレモニーが始まり、全体会第1部は、講話「鉄砲伝来」でした。今回のIMテーマとは違いましたが、3月11日の大地震で中止した栃尾クラブ創立40周年式典に、上杉謙信ゆかりの「謙信公祭」に鉄砲隊を結成させたいことで宇田川武久先生をお招きしておりました縁から、今回の講演とさせていただきます。

全体会第2部では開催テーマである「ロータリーの原点」について各クラブ7名の会長様からパネラーになっていただきパネルディスカッションを行いました。今回のIM開催の主旨としたかったのですがあまり時間がとれず、各会長様から「私のロータリー観」について3～5分間のスピーチをお願いしました。その後、今回出席された石本ガバナーと鈴木エレクトから総評をいただき、大変短い時間ではありましたが、中身の濃いIMにふさわしいものになったと思います。

締めくくりの懇親会では、栃尾クラブが最も得意とする分野で、名物の「あぶらげ」の揚げたてと「薇・麩・鰯」の煮付け、美味しい地酒で盛り上がり本当に楽しい懇親会となりました。次年度IM開催のホストクラブである長岡西クラブ会長のご挨拶でIMの幕となり、皆様方のご協力に深く感謝申し上げます。



日本海に浮かぶ佐渡ヶ島 佐渡南 RC のすごい所・・・それは実行力です

佐渡南ロータリークラブ 小田 恵子

この度の東日本大震災は、日本中いや世界中の人々が想像を絶する出来事でした。その時は、テレビの映像、新聞等々で見るたびに「大変な事だ。悲惨な事だ。」と思うしかありませんでした。と同時に会員達の胸の中では「何かお手伝いができるはず」と思っていたのは確かです。そうです私達佐渡南 RC はすぐに行動を起こせるクラブです。新潟県中越沖地震の時もそうでした。すぐに行動を起こし実行しました。

震災から四週間 今回は0泊3日での炊出し、カレー1,000食、佐渡の味・すりみ汁 1,000食。前日は、会員の作業場をお借りして材料の仕込み、機材の準備。水もないガスもない所へ行くのですから、それだけの用意が必要です。4t ユニック車、保冷車、マイクロバス、乗用車、この4台で出発しました。なにしろ0泊ですから、ドライバーは大変です。若手会員の素晴らしい連携で4台がバラバラになりながらも佐渡を出発して13時間、無事目的地・気仙沼市民会館に到着。今回は2ヶ所、気仙沼光ヶ丘保養園でも同じ炊出しをしてきました。皆さんの喜んでくれた笑顔が今でも心の中に残っています。自分たちも大変なのに今回お世話下さいました気仙沼RC・気仙沼南RCの皆様ありがとうございました。佐渡産コシヒカリ 200kg、水 1t すべて使い切りました。

最後に被災された皆様方の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



東日本大震災の支援活動 「過去の経験を踏まえての支援活動」

柏崎中央ロータリークラブ会長 鈴木 公子



震災は台湾中科ロータリークラブとの姉妹友好クラブ提携の調印式を無事に終えて、帰国した翌日のことでした。早速、当クラブで何ができるのかを臨時理事会で検討しました。

すでに連絡が入っていました。相手は、中越沖地震の後、炊き出しに来てくださった、兵庫明石ライオンズクラブの方でした。以前より個人的に友好のあったクラブの方たちで、ロータリーやライオンズの壁を超えて、支援活動をしてきた仲間です。ライオンズクラブの素晴らしいはそのネットワークの緻密さとフットワークの良さ。震災後間もなく、「福島で〇〇で濡れたままの下着で避難所

で過ごしている方が多いので緊急に下着を用意してほしい。直接届けるので、1週間後までに集めておいてください。」救援物資で洋服はすぐに届いたが、下着が無くて、一度も着替えていないということなのです。緊急に柏崎中央ロータリー全員に連絡して下着を集めて頂き、仲良くしている万代ロータリーの方たちにも協力して頂き、2,000枚を超える下着を届けて頂きました。その後は「岩手の奥で支援物資が届かず、母親の母乳が止まり、乳児の命が危ない」との連絡。直ちにロータリアンに連絡。粉ミルクの缶を6ダースほど集め、ライオンズの方に緊急にピンポイントで届けて頂きました。

以前、中越沖地震の際に幹事だった際、自ら被災しているにもかかわらず、多額の支援金の使い方に悩み奔走し、苦しんだ覚えがあります。それよりも、実際に情報が有れば、ライオンズとロータリーが協力して支援するのも有りだと考え、会員に了解を得て動きました。その後も、柏崎3クラブで、避難してきている子供たちへの文房具の配布、避難家族のホームステイの受け入れなどを支援。これからも柏崎中央ロータリーらしい独自の観察で細かく対応していく予定です。



新 入 会 員

猿子 公司

新発田 RC

入会日:2011 年 9 月 26 日

会社名:行政書士ましこ事務所

役職:所長

職業分類:行政書士

石川 一昭

新発田城南 RC

入会日:2011 年 9 月 22 日

会社名:新発田公証役場

役職:公証人

職業分類:公証人

鳥塚 滋人

新潟 RC

入会日:2011 年 8 月 30 日

会社名:(株)NTTドコモ新潟支店

役職:支店長

職業分類:移動通信事業

後藤 直樹

新潟 RC

入会日:2011 年 9 月 20 日

会社名:白山パーク法律事務所

役職:弁護士

職業分類:商事弁護士

滝口 恵介

三条南 RC

入会日:2011 年 8 月 1 日

会社名:(株)滝口製作所

役職:代表取締役会長

職業分類:鍛造品製造

加藤 峰孝

三条南 RC

入会日:2011 年 8 月 1 日

会社名:(株)ビップ

役職:代表取締役

職業分類:結婚式場

青木 光達

高田東 RC

入会日:2011 年 8 月 22 日

会社名:あおき味噌(株)

役職:代表取締役社長

職業分類:味噌醸造

日馬 大成

越後春日山 RC

入会日:2011 年 8 月 18 日

会社名:(株)ホライズン

役職:代表取締役

職業分類:不動産業

物 故 会 員

心よりご冥福をお祈りいたします。

吉田 秀治

三条南 RC

ご逝去日:2011 年 9 月 1 日(享年 84 歳)

会社名:(株)マルヨネ

役職:代表取締役

職業分類:食品製造

チャーターメンバー、第 6 代会長

大森 幸一

分水 RC

ご逝去日:2011 年 9 月 20 日(享年 76 歳)

会社名:大森砂利採取(株)

役職:会長

職業分類:砂利採取販売

1998～2001 年地区拡大委員

10 月 地区の予定 ～～職業奉仕月間・米山月間～～

2011 年 10 月		地 区 主 要 行 事	会 場
1	(土)	ライラ研修会	ニューグリーンピア津南
2	(日)		
8	(土)	第 1 分区 IM (川崎 AG・村上 RC)	大観荘 (村上)
15	(土)	第 1 回米山奨学委員長セミナー	ホテルオークラ新潟 (新潟市)
29	(土)	第 2560 地区クラブ会長会	わか竹 (湯田上温泉)
30	(日)		

2011 年 10 月		ガバナー公式訪問	分区
3	(月)	高田東 R C	7
4	(火)	柏崎中央 R C	5
5	(水)	柏崎 R C	5
11	(火)	新発田中央 R C	1
13	(木)	村上 R C	1
17	(月)	柏崎東 R C	5

2011 年 10 月		ガバナー公式訪問	分区
18	(火)	越後魚沼 R C	6
19	(水)	中条 R C	1
20	(木)	小千谷 R C	6
24	(月)	津南 R C	6
26	(水)	頸北 R C	7
27	(木)	妙高高原 R C	7

第2560地区 2011-12年度 8月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	8月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	87.91	332	330	28	0
新発田	3	98.71	79	80	0	0
村上	3	83.81	35	35	6	0
水原	3	77.73	21	21	1	0
中条	4	84.50	35	35	2	0
新発田城南	4	90.00	44	42	6	0
豊栄	4	92.85	21	21	3	0
新発田中央	4	92.39	46	46	3	0
中条胎内	5	87.14	28	27	3	0
村上岩船	3	84.06	23	23	4	0
第2分区(9クラブ)	／	87.90	392	408	21	0
新潟	4	91.45	77	87	0	0
新潟東	5	94.77	54	55	3	0
新潟南	4	89.29	71	73	0	0
佐渡	3	83.00	14	15	0	0
新潟西	4	83.48	34	36	1	0
佐渡南	4	92.77	44	44	6	0
新潟北	3	83.33	36	36	0	0
新潟中央	4	88.64	22	22	2	0
新潟万代	3	84.33	40	40	9	0
第3分区(6クラブ)	／	81.64	148	150	6	0
新津	4	72.00	25	25	0	0
村松	3	95.83	7	8	0	0
五泉	4	86.30	22	22	2	0
白根	4	81.37	49	51	2	0
新津中央	4	82.15	35	34	1	0
阿賀野川ライン	4	72.20	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	／	79.97	372	378	20	0
三条	4	81.54	52	53	0	0
燕	4	63.45	26	26	0	0
加茂	4	84.63	38	39	5	0
三条南	3	89.85	48	50	0	0
分水	4	91.40	32	32	2	0
見附	4	81.00	16	17	1	0
吉田	4	86.00	37	37	3	0
三条北	4	72.39	66	67	3	0
巻	4	69.60	14	14	0	0
田上あじさい	4	80.00	5	5	1	0
三条東	4	79.86	38	38	5	0

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	8月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		86.43	297	302	26	0
長岡	4	88.89	41	43	2	0
柏崎	4	78.98	44	44	0	0
長岡東	4	86.50	68	68	6	0
柏崎東	3	99.24	43	44	2	0
栃尾	4	83.70	22	23	0	0
長岡西	4	83.57	38	39	4	0
柏崎中央	4	84.15	41	41	12	0
第6分区(6クラブ)		83.76	149	154	10	0
十日町	4	97.50	32	32	0	0
小千谷	4	74.04	33	38	4	0
雪国魚沼	4	70.00	22	22	2	0
十日町北	4	100.00	25	25	2	0
津南	3	82.00	25	25	2	0
越後魚沼	4	79.00	12	12	0	0
第7分区(9クラブ)		81.95	319	325	20	0
高田	5	89.52	69	70	1	0
直江津	4	87.57	44	45	2	0
新井	4	80.69	33	35	2	0
糸魚川	4	81.42	36	36	0	0
妙高高原	4	80.00	6	6	0	0
高田東	3	79.63	36	37	2	0
糸魚川中央	5	77.78	36	36	0	0
頸北	4	85.90	16	16	1	0
越後春日山	4	75.06	43	44	12	0

クラブ数	57	クラブ
7月1日 会員数	2,009	人
8月末 会員数	2,047	人
女性会員数	131	人
純増減会員数	0	人
当月平均出席率	84.16	%



ハイライトよねやま138

1 寄付金速報 — 10 月の米山月間に向けて —

8 月までの寄付金は前年同期と比べて 8.1%減、約 2,400 万円の減少となりました。普通寄付金が 4.1%減、特別寄付金が 15.5%減と、東日本大震災の影響もありますが、会員数が 9 万人を割り、寄付金の減少になかなか歯止めがかからない状況となっています。

10 月は米山月間です。昨年度から税制優遇の対象が普通寄付金にも適用可能となり、寄付のメリットが増えています(詳細は『豆辞典』p11 をご覧ください)。また、クラブ米山奨学委員長のための資料、『クラブ米山記念奨学委員長の手引き(寄付金マニュアル付)』の 2011 年度版もごさいます。事業理解の推進のもと、さらなる寄付への呼びかけをよろしくお願い申し上げます。

2 理事会・評議員会開催報告

2011 年度第 1 回の評議員会および 2011 年度第 1 回・第 2 回の理事会が、それぞれ 8 月 30 日(火)、メルパルク東京(東京都港区)にて開催されました。

午前の評議員会には、全国から 39 名の評議員が出席し、常務理事および監事など 10 名が列席しました。互選によって、議長には大木勲評議員(第 2820 地区ガバナー)が選出されました。

午後の理事会は、新旧の理事 38 名と監事が出席。2010 年度までの理事による第 1 回理事会と、2011 年度からの理事による第 2 回理事会が開催されました。

【評議員会の主な決議】

- ・ **定款の変更の案の承認**：公益財団法人に移行後の定款案を審議し、原案通り承認した。
- ・ **公益認定申請書類案の承認**：公益認定に際し、内閣府に提出する申請書類の内容について審議し、原案通り承認した。
- ・ **2010 年度事業報告・決算報告の承認**：それぞれ原案通り承認



評議員会のようす

【第 1 回理事会における主な決議】

- ・ **定款の変更の案の承認**：(上記評議員会決議に同じ)
- ・ **公益認定申請書類案の承認**：(上記評議員会決議に同じ)
- ・ **2011 年度選考委員会委員の選任**：原案通り 6 名を選任
- ・ **2010 年度事業報告・決算報告の承認**：それぞれ原案通り承認

【第 2 回理事会における決議】

- ・ **2011 年度役員の選任**：役員候補者指名委員会を代表して、渡辺好政委員長から答申された以下の役員候補者を承認



渡辺好政元 RI 理事

理 事 長：板橋敏雄氏(2550)

副理事長：平山金吾氏(2790 新任)・近藤雅臣氏(2660 新任)

常務理事：高木貞一郎氏(2840)・大須賀洋氏(2590 新任)三井章義氏(2600)・栗林英雄氏(2740 新任)

- ・ **任期満了の理事に対する感謝**

理事会終了後は、板橋敏雄理事長より、退任理事および 2010-11 年度達成クラブ(寄付金 1,000 万円ごとに表彰)に対して感謝状が贈呈されたほか、米山記念奨学事業に関する活発な意見交換が行われました。

3 中国の全国剣道大会で準優勝 — 楊 敢峰さん —

中国・天津で8月19～21日、CKOU全国剣道大会（正式名称：2011年CKOU賽聞杯全国剣道錦標賽）が開催され、米山学友の楊敢峰さん（中国／2004-05／水戸南RC）が、男子個人戦で準優勝しました。楊さんは、来年5月にイタリアで開催される第15回世界剣道大会（3年に1回開催）への中国選抜メンバーにも選ばれ、2大会連続での出場を果たします。楊さんのご健闘をお祈りいたします。



※楊さんの紹介記事「中国で剣の道を開く」（『ロータリーの友』2009年5月号よねやまだより掲載）は、こちら：
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/report/img/yoneyamadayori_0905.pdf

4 まもなく米山の資料が全クラブへ届きます！

今年も米山月間【10月】用資料を全ロータリークラブへお届けします（9月16日発送完了）。クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。

※理事、ガバナー、評議員、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

お送りする資料（豆辞典以外は基本的に1部ずつです）

- ・豆辞典 **※豆辞典は、全会員に配布してください**
（プレゼンテーション用パワーポイントは、地区米山奨学委員長・ガバナー事務所へメールでお送りしますが、当会ホームページからもダウンロードできます。お気軽にお問い合わせください）
- ・クラブ米山記念奨学委員長の手引き（委員長用）
- ・寄付金マニュアル（クラブ事務局用）
- ・2010-11年度事業報告書
- ・2010-11年度事業報告書（統計・資料編）
- ・2010年度決算報告（クラブ会長・委員長各1部）



5 訃報 第2750地区前理事 小林禮次郎氏逝去

国際ロータリー第2750地区のロータリー米山記念奨学会前理事・小林禮次郎氏が、8月13日にご逝去されました。享年83歳でした。小林氏は、1999-2000年度の同地区パストガバナーで、2007年8月から4年間、当会理事をお務めいただきました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

もうすぐ締切！

第3回中国学友会総会のご案内 in北京

2009年に正式発足した中国米山学友会の第3回総会が、今年は10月22日（土）に北京で開催されます。昨年7月に上海で開かれた第2回総会・懇親会には、万博会期中ということもあり、日本からもたくさんのロータリアンが参加しました。今年は、学友会同士の親善交流が主な目的となりますが、「ロータリアンの参加も大歓迎」とのことですので、関心のある方はぜひご参加ください！

（申込締め切り日：9月15日 *ただし、締め切り後も受付可能とのことです。お早めにお申し込み下さい）

申込方法など、詳細は当会ホームページ「News&Topics」をご覧ください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

平成 23 年 9 月 22 日

ガ バ ナ ー 各 位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 新藤 信之

拝 啓

秋分の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記 9 点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。

なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬 具

追 伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文 庫 通 信 (289号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

- ◎「有田の伝統を語る（対談）」 14代酒井田柿右衛門 2011 7p
(D.2740)
- ◎「夢を創る」 安藤忠雄 2011 4p (D.2580)
- ◎「一隅を照らす」 半田孝淳天台座主 2011 6p (D.2600)
- ◎「遺言書を書いて千日回峰行」 上原行照師大阿闍梨 2011 5p
(D.2600)
- ◎「いくつもの壁にぶつかりながら『19歳・児童売春撲滅への挑戦』」
村田早耶香 2011 4p (D.2780)
- ◎「日本のこれから、日本人のこれから」 藤原正彦 [2011] 16p
(D.2530)
- ◎「アジア大交流時代の幕開けと日本人」 浜田和幸 2011 7p
(D.2560)
- ◎「ソフトパワー大国を目指して～山形からの可能性」 結城章夫 [2011]
7p (D.2800)
- ◎「CO₂貯留研究の現状と課題」 村井重夫 [2011] 12p (D.2800)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロ ー タ リ ー 文 庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2011-12 年度ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 2-12

TEL: 025-201-7802 FAX: 025-201-7803 E-mail: ishimoto@rid2560niigata.jp

ホームページ URL <http://www.rid2560niigata.jp/>